

明日 (あした) のために！

くまがい裕人の 改革派 宣言 !!

Children First！ すべては子どもたちのために！

子どもたちの笑顔が輝くまち・笑顔の絶えないまちは、子どもたち自身にも、子どもたちの親にも、そしてその親の世代にも、きっと暮らしやすく住み続けたいまちであり、魅力的なまちであると思います。

123万人の市民が暮らす「さいたま市」は、誕生して今年で未だ10年。

政令指定都市としての都市基盤や行政の体制など、まだまだ整備して行かなければならない課題が実はたくさんあります。

今も発展を続ける『さいたま市』ですが、少子高齢化の影響は確実に直ぐそこまで迫ってきており、今後、実現したい政策の優先順位付けや実行段階での効率化や事業仕分けによる精査などが必要となってきます。

地域の絆が薄れてきたと言われている昨今、地域コミュニティの中で私たち一人ひとりが「生きがい」や「できること」を見つけて自ら行動することが、さいたま市をさらに魅力あふれるまちに変えて行く第一歩だと思っています。

次代を担う子どもたちのために、私たちが地域のことを真剣に考え、行動しようと思うその思いを実現するため、中でも市の大切な宝物である子どもたちの夢と希望を大きく育みながら実現して行くために存在しているのが『議会』であると考えています。

『議会』を私たちの声に迅速に、的確に応えられる活性化された「機能するさいたま市議会」とするために、市長とともに市政運営の責任の一翼を担うさいたま市議会の、議員一人ひとりの『議員力』の、さらなる向上が今、求められています。

議会改革！ To The Next Stage！

議会へ送っていただいて以来、議会でのマンネリ化した議論の改革に力を注ぎ、活性化を目指して「議会基本条例の制定」や「対面式演壇の設置」、「質問方式の変更」、「政務調査費の全面公開」など、これまでも様々な施策を提案し、その実現を図ってきましたが、さいたま市議会は残念ながら未だ議会改革の途上にあります。

『改革力！』で議会の古い慣習を打破し、『提案力！』で馴れ合いの議論から切磋琢磨へ、『実践力！』で決めたことはやり抜く！」を掲げ、改革派の議員として、私 くまがい裕人は、全力で市政改革・市議会改革に挑戦し続けます。

民主党・無所属の会さいたま市議団 会派マニフェスト

あした 明日のために 未来への 15 の約束 / 2011 会派マニフェスト

改) 明日のために改革を！

1. 将来負担となる借金を増やさず、健全財政を維持します
2. 事業評価を予算編成にきちんと反映させることで、事業のスクラップ&ビルドを図ります
3. 民間の力を官のプロジェクトに積極的に取り入れます

育) 明日の世代をはぐくみます！

4. 待機児童を解消し、放課後児童クラブを充実させます
5. 教育日本一のさいたま市を目指します
6. 児童虐待ゼロを目指します

活) 明日に向かっていきいきと！

7. ひとり暮らしの高齢者にも安心して暮らせるまちづくりを進めます
8. 年を重ねても元気に地域などで活躍できるさいたま市をつくります
9. 介護疲れを招かないよう、介護する人のサポートの充実をはかります

街) 明日のまちをつくります！

10. (仮称) さいたま新都心ビジョンを策定します
11. 見沼たんぼや荒川など、地域資源を活かしたまちづくりを進めます
12. 公共交通システムの充実と自転車の安全利用を進め、人と環境にやさしいまちをつくります

民) 明日の力は市民の力！

13. 中小企業支援策の充実を図り、活力あるさいたま市をつくります
14. 市政の課題の解決に向け、無作為抽出の市民による意見を積極的に取り入れます
15. 新しい公共の取り組みで、若い世代も活躍できる仕組みを作ります

そして、議会は更なる進化へ…

様々な形で市民の皆さんが活躍する未来。議会にも、市民の皆さんの声を今まで以上に反映していく必要があります。

まず、何をやっているかわかりにくい議会の仕事を皆さんにお伝えするため、**議会報告会**の開催を目指します。そして、市をリードする積極的な政策提言を**政策条例**の形で提案していきます。また会期にとらわれることなくじっくり議論できるよう、**通年議会**へ。更に、事業仕分けの手法を活用した常設の(仮称)**決算行政監視委員会**を設置し、常時ムダをチェックします。

そして、**議員定数 54 の実現**を目指し、報酬なども含めた議会のあるべき形について、徹底的に議論して改革を進めます。

明日(あした)のために！ くまがい裕人のマニフェスト 2011

お母さん、お父さんが安心できることを優先して

- 地域の潜在力を活かした子育て支援策を推進します
 - ・保育所や学童保育所、放課後児童クラブの整備に大胆に予算配分し、早期に待機児童を解消し、働く子育て世代を応援します。
 - ・災害時の安否確認には伝言ダイヤルを活用し、子どもたち一人ひとりに災害時伝言ダイヤルカードを配布します。
 - ・ご近所のお年寄りや子育て中のお母さん同士が気軽に集まっておしゃべりしたり、相談したり、子どもを預け合える『つどいの家』を小学校区に1ヶ所以上設置します。そこにはボランティアスタッフが常駐し、お互いに悩みを聞いてもらったり、知恵を借りたり出来る、お年寄りやお母さんが安心できる居所を目指します。
 - ・『つどいの家』は、放課後には子どもたちに開放し、宿題を教えあったり、近所の方に学校での悩みを打ち明けたり、子どもたちの『心の相談所』としても活用します。
 - ・週末には、お父さんと子どもが遊びを通して交流できる『父さんと子どものつどいの広場』を開設して、お父さんの子育て参加を促します。
 - ・子育ての一段落したシニア世代の応援を得て、生活全般を見てもらいながら親の帰りを待つ、子ども預かり支援サービス「生活塾」を積極的に活用し、待機児童の解消に役立てます。
 - ・中学生までの子ども医療費の無料化は実現しました。次は小児科医師不足を解消して、子どもの緊急医療体制の充実を図り、子どもの急な病気や怪我に対する親の不安の解消を目指します。
 - ・「介護疲れ」を招かないように、介護する人をしっかりサポートできる仕組みを作ります。
- 「地域の安全は地域みんなで守る」を基本にします
 - ・中学校区を単位に「危ない」を調査して、『さいたま歩行者・自転車安全マップ』を作成します。マップに基づき、歩行者・自転車のための標識を増やし、歩道の自転車と歩行者の分離レーンの設定、通学路のルート変更など、改善に役立てます。
 - ・学校で交通安全教室、自転車運転教室を開催し、交通ルールとマナーの徹底を図ります。
- 地域医療のさらなる充実を図ります
 - ・子どもの病気は待ってけません。各区に少なくとも1ヶ所、24時間体制の小児救急医療施設を設置します。
 - ・NICU（新生児特定集中治療室）機能を備えた小児専門医療施設の複数設置を目指します。

地域の教育力向上のためにすべきこと

- 子どもたちのために学校を変えます

- ・大規模過大校の解消と少人数学級の実現、土曜チャレ・放チャレの拡充、小中・中高一貫の連携教育の導入で公教育の再生を図り、教育環境と基礎学力の向上を目指します。
- ・学校給食は地場産物の食材を使ったものに変更し、市内農産物マップを作成して、子どもたちが地域社会を知る手がかりとします。
- ・市内の全ての小学校図書館に選任の図書館司書を配置されたことを活用して、放課後は地域の人にも学校図書館を開放します。また、ボランティアの協力を得て『読み聞かせ』の全小学校での実施を目指します。
- ・市内の全小中学校の校庭を緑の芝生に変えます。さらに校舎の屋上や壁面の緑化を促進すると共に、窓辺にはつる草を植え、緑のカーテンを作り、教室内の室温の低下を図り、地球環境に配慮した学校施設整備を進めます。
- ・子どもたちのまちづくり事業「ミニさいたま」や職業体験学習の拡充で、子どもたちのシチズンシップや社会参画意識の醸成と向上を図ります。

○新しい形の学校をスタートさせます

- ・多感な思春期に受験戦争のない中高一貫教育の学校を各区に2校以上設置します。
- ・小学校・中学校の9年間を一貫教育する学校の設置を目指します。
- ・地域の人たちが学校運営に積極的に関わることのできるコミュニティスクール（地域運営学校）を各区に1校以上設置します。

みんなが笑顔になるために

○新しい発想でまちづくりに努めます

- ・さいたま市版リバースモーゲージ制度を創設し、資産の有効活用で豊かな生活実現を後押しするとともに、相続による町並みの乱れの事前防止に役立てます。
- ・休日は家族揃って公園で過ごすことや「まちなか散歩」などで一日ゆっくりできる魅力的な文化芸術の溢れる市街地を造ります。
- ・老人世帯と母子家庭の方々をマッチングし、双方のニーズを満足させる新しい発想の生活支援事業を導入します。
- ・企業誘致の指針に『子育てサポート度』の尺度を導入します。
- ・大規模マンションや大規模商業施設の建設基準にも『子育てサポート度』の尺度を導入します。
- ・自宅の一角をゴミ集積所として提供してくれた市民には、補助金の助成と固定資産税の減免で応えます。
- ・通学路に面した庭の一角を提供してもらい『陽だまりコーナー』として災害対応型のベンチを設置し、おしゃべりしながら子どもたちの通学の安全を見守る空間を作ります。
- ・市民が公共事業の現場を見学する『市民の社会科見学会』を随時開催します。
- ・プレイパーク（冒険遊び場）の各区1ヶ所以上設置や公共施設の開放で、子どもたちがいきいき遊べる空間を作ります。
- ・自然環境にも優しいLRTの導入で、市内東西交通の充実を図ります。

- ・入札制度改革には、一般競争入札制度と共に抽選方式を導入します。

○地域の潜在力を活かした街づくりをすすめます

- ・これまでの社会経験と知恵を福祉や教育の現場などに活用してもらうなど、地域社会の貴重な知的財産を活かす仕組みを作ります。
- ・地域のニーズを反映したコミュニティビジネスを積極的に生み出し育成して、行政と協働することによって、コンパクトで効率的な新しい行政サービスの形を実現します。
- ・中小企業や商店街育成のため担保によらない無担保融資制度を充実し、街の元気を取り戻します。また、ベンチャー企業育成のための助成を拡大します。
- ・頓挫している大宮駅東口の再開発は、さいたまの顔、東日本の顔としての駅周辺がどう在るべきかを意識しながら、積極的に地元との話し合いを進めます。また、再開発の柱に緑と空間を多用した駅前の実現を提案します。
- ・公共施設の再配置も考慮に大宮駅東口に地下駐車場を併設した緑豊かな市民公園として整備する『大宮セントラルパーク』を実現します。

○良好な住環境を守るための施策を積極的に進めます

- ・街づくりに大規模マンションやワンルームマンションの建設をどのように位置づけるか、早期に「マンション基本条例」「ワンルームマンション規制条例」を制定します。
- ・まちづくり基本条例の制定を進めます。
- ・用途地域指定の見直しや高度地区の指定を進めるとともに、住民発意の地区計画を積極的に支援します。
- ・全国平均の6割に満たない公園整備率を上げると共に、災害対応型ベンチを備えた防災型公園整備を積極的に進めます。
- ・駅周辺にバイク用駐車場の整備を進めます。
- ・愛犬家の皆さんが安心して散歩ができるように「ドックラン」の整備を進めます。
- ・氷川参道で毎月10日に朝市を開催し、人の集まるスポットを作ります。
- ・都市計画道路の見直しを進め、既存ストックを活用した道路計画への変更を目指します。

未来を創るための実行力のある機能する議会を

○さいたま市議会基本条例を改正します

- ・様々な政策課題にじっくり取り組めるよう、議会会期の通年化を図るとともに、議会議論の活性化を目指します。
- ・年4回の議会終了毎に、抽選で議員の選出区とは別の区での議会報告会を実施し、議員が直接市民へ議会報告することを義務付け、議会活動の公開化を図ります。
- ・議会審議の活性化のため、議会事務局機能を強化し、議員提出条例を増やします。また重要案件や市民の関心の高い案件は、夜間や休日議会開会での審議を実現して、市民に開かれた市議会を目指します。
- ・議会の質問形式は全て一問一答方式に変え、議員の資質向上を目指します。

○議会の見える化を図ります

- ・議員による不正な口利きを排除するため、住民からの陳情は全て議会で報告することになります。また、行政への働き掛けについても全て記録し、議会への報告義務を課すことにします。
- ・押しボタン式投票を導入し、投票の迅速化と結果の明確化を図り、市民に公開します。
- ・議会広報の改革を進め、市民にわかり易い議会を目指します。

○機能する議会を実現します

- ・議員定数を大胆にカットして議員の専門職化を進め、議会機能の強化に努めます。
- ・市政をリードする政策提言を政策条例の形で、積極的に提案して行きます。
- ・行政監視常任委員会を設置し、事業仕分けの手法で事業評価を行ない、予算編成に反映させることで、事業のスクラップ&ビルドを図ります。
- ・将来負担となる借金は増やさず、これからも健全財政を維持します。
- ・「新しい公共」の取り組みで、市民の力の活用、とりわけ若い世代も活躍できる仕組みを作ります。

市民の皆さんから、より信頼される議員を目指して

○実践を続けます

- ・くまがい裕人の活動は一部のプライベートを除いて、毎日のブログ更新を通じてお知らせします。
- ・毎月第2週と第4週の平日に行なっている定例駅頭市議会報告活動は、継続して行い、その時々の方議会の動きを迅速にお伝えします。
- ・定例議会前に開催しているタウンミーティング・意見交換会は継続開催し、開催頻度の倍増を目指します。
- ・定例議会での質問機会は逃すことなく利用し、毎定例会、必ず常任委員会での一般質問を行うことを続けます。
- ・議会質問は陳情型ではなく、提案型の質問を続け、一問一答、原稿無しでの質問を続け、すべての質問での実践を目指します。
- ・定例議会毎に閉会后、必ず市議会レポートを発行し、定例会の内容をお知らせします。
- ・政策条例の立案など、積極的に政策提案を行なうことを続けます。

以上

まだまだたくさんの『出来れば良いなあ!』がありますが、これらの実現のため、ぜひ皆さんの力を貸していただき、一緒に さいたま市 の未来を創りましょう!

くまがい裕人